



一般社団法人日本スクエアダンス協会

2020年4月14日

新型コロナウイルスに打ち克とう!!

一般社団法人 日本スクエアダンス協会
会長 沖吉 和祐

新型コロナウイルス感染が世界的な大流行となり、人々の日常生活、健康・生命、社会・経済活動等に大きな支障が生じ、オリンピック・パラリンピックの延期をはじめ各種のイベントに大きな影響が及んでいます。

本協会では、政府の新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に備えた対策の基本方針等を受け、2月25日に感染症への対応について注意喚起の要請をし、S協ニュース3月号にも掲載しました。

2月下旬から、統括支部、県連、クラブが主催するパーティー、イベントの中止や例会の見合わせが続いています。このような自粛は、いわゆる濃厚接触を避けて、新たな感染を発生させないための苦渋の判断で、必要かつ適切な行動だったと思います。

4月7日には、政府から、東京都など7都府県を対象地域とする「緊急事態宣言」が出され、徹底した外出の自粛が要請され、特に、①換気の悪い密閉空間、②多くの人々が密集、③密接した会話や発声の3つの“密”の条件を避けるよう求められました。

会員の皆様には、感染症の拡大抑止という大きな命題に対処するため、例会やパーティー等は引き続き自粛いただくようお願いいたします。私たちスクエアダンス関係者が、クラスター（集団感染）になることは、何としても避けるよう気をつけましょう。

オーバーシュート（爆発的な患者増）や医療崩壊の事態に至ることのないよう、国、都道府県、市町村から出される自粛などの要請や指示には、よく耳を傾け、遵守し、この試練を乗り切りましょう。

また、スクエアダンス活動以外についても、皆様自身の健康のため、3つの条件が重なる場への参加は厳にお控えいただくようお願いいたします。あわせて、十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事に心がけてください。

このようにスクエアダンスのない日々が続くのは、初めてのことです。皆様も、お友達に会えず、ダンスができない何とも寂しく、味気ない毎日かと推察いたします。しかし、いまは我慢の時期です。感染症が収まることを願い、しばらく外出を控えましょう。

第59回全日本コンベンション in 札幌も開催することができなくなりました。日常生活が平静に戻り、スクエアダンスを楽しく踊れる状況になるよう、一日も早く感染の鎮静化、終息の兆しが見えてくることを心から念じております。

* 新型コロナウイルス感染症に対するS協としての対応を、状況の変化に応じて適宜、ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

S協ホームページ <http://www.squaredance.or.jp/>

【関連リンク】

内閣官房ホームページ https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

各都道府県の相談窓口 https://www.kantei.go.jp/jp/pages/corona_news.html

本件 お問い合わせ先

半田 啓二 一般社団法人 日本スクエアダンス協会 事務局

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7 神田ミハマビル4階

TEL 03-6240-6560 / FAX 03-6240-6561

E-mail <squaredance@giga.ocn.ne.jp>